



東実同窓会報 No.32

発行 〒144-0051 東京都大田区西蒲田8-18-1 TEL 03-3732-4481

東京実業高校同窓会広報部
<http://www.tojitsu-dosokai.com>

会長 白田 佳彦 (第42期)

■ご挨拶

同窓会会員並びに東京実業高校教職員の皆様には、平素より同窓会活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。同窓会を代表して厚く御礼申し上げます。

昨年6月に開催されました第40回定期総会において、役員改選が行われ、引き続き会長を務めさせていただくことになり、会長就任3期5年目になります。

微力ながら母校と同窓会の発展に寄与できるよう、鋭意努力いたす所存でございますので、何とぞ一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年1月9日

■新型コロナウイルス感染症の影響

昨年は新型コロナウイルス感染症が世界中に拡散し、日本は7月から開催予定だった東京オリンピック・パラリンピックが1年延期されました。また、感染拡大防止のため、不要不急の外出自粛、休業や営業時間の短縮等の要請により、経済活動が停滞して企業の休廃業や倒産が増大し、雇用・就業にも多大な影響をもたらしました。

当同窓会は、このような情勢を鑑み、6月6日開催の「第40回定期総会」は、母校に近いプラザ・アペアにて行い総会後に懇親会を開催する予定でしたが、急遽母校の小ホールに変更し、懇親会は中止いたしました。また、昭和58年の山中湖学寮への一泊旅行から始まり、37回目を迎えた「懇親旅行」および1月30日に開催を予定しておりました「令和3年新年会」も中止いたしました。

両行事とも長年にわたって開催している恒例行事で、毎年楽しみにしている会員も多く催行を望む声もある中、新型コロナウイルス感染症の影響とは言え、中止となったことは誠に残念です。学校関係の行事においては、同窓会会長杯を贈呈している体育祭および各期の卒業記念アルバムの展示や“校章入りどら焼き”の販売などの催しを行い参加している東実祭は、保護者や一般来客を迎えての実施は難しいとのことで中止となりました。

このように本年度は、コロナ禍の影響を受け、特例的な対応が求められた一年でした。

■寄付金の推移と感謝

私が会長に就任した年(平成28年度)に発行した本誌第28号やホームページに『寄付金募集について』と題して、趣意書と募集要項を掲載し、会員の皆様や関係者に同窓会への寄付金のご協力をお願い申し上げたところ、寄付を寄せてくださる賛同者の方が漸増して寄付金額は、次表のような推移となっております。

年度別寄付金額(単位:円)

年度	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
人数	1	12	13	12	7
寄付金	10,000	268,000	170,000	130,000	170,000

貴重なお寄付をお寄せくださいました皆様方に厚くお礼申し上げます。ご寄付いただいた寄付金は、同窓会や母校のために有意義に活用させていただきます。

■第96期卒業生の皆さんへ

今年も、319名(1月31日現在)の後輩たちがそれぞれの進路に向けて巣立って行かれ、当会の第96期会員とされますが、「親和誠実」・「不撓不屈」の校訓のもとで学んだ東京実業高校の卒業生であることを誇りに思い、日々精進を重ねて益々活躍されますことをお祈り申し上げます。

卒業後は同窓会行事等に参加され、近況報告や若い視点からの意見などをお寄せいただければ幸いです。特に、同窓会幹事の方は、毎年6月の第1土曜日開催の定期総会には、是非ご出席していただきたく切にお願い申し上げます。



東京実業高校同窓会のホームページ
<http://www.tojitsu-dosokai.com/>

令和2年の災厄



理事長 上野 雅子

令和2年の始まりは、中国武漢での新型コロナウイルス発祥で、横浜港入港のダイヤモンドプリンセス号から感染者が出て徐々に大きなニュースとなり、それでも当時はそんなに大事とは思わずに推移している状況を見守っていたように思います。2月に入ってからこのウイルスが今迄のものと違い、肺炎をおこすと死に至ること、飛沫感染率が高いこと等、非常に面倒なウイルスであることが判明し、外出自粛、マスク着用、三蜜を避けることなどが発表され、大変な事態となりました。世界でも感染者が増大し、多くの国々でいろいろな制約が始まり、日常生活を送ることも困難な状態になりました。

学校も卒業式は、各クラスで校長、理事長の祝辞が放送され、令和元年度の卒業生にとって、保護者・来賓者・祝電等、何も無い淋しい式となってしまいました。また4月の入学式も中止となり、いつ学校が再開されるのかも分からないまま5月が過ぎ、6月に入ってやっと延び

延びとなっていた入学式が挙行されることとなりましたが三蜜を避ける為、保護者来賓の方々の出席はなく、校長、理事長の祝辞のみ、新入生も半分に分けて2回といういつもと違った入学式となりました。授業再開も、消毒、マスク着用、体温測定など厳重な管理の下に短縮授業の形態で、長かった休み明けの身体を徐々に慣らし、新型コロナウイルス感染予防に徹しました。

長い歴史の中では、思いもよらない出来事が生じますが、この度の病原菌のような目に見えない敵と戦うことは非常に難しいことと世界中の人々が知ったのではないのでしょうか。この新型コロナウイルスの発祥は、人間への警鐘なのかもしれません。確かにコロナ禍は、人々の生き方を変えています。終息迄には、あと2年はかかるだろうと専門家は言っています。マスク着用、手洗い、うがい消毒もこれからは当たり前の日常になるでしょう。そんな息苦しい世界で、若者達をどう教育していくか、教育界でも新しい取り組みを考えていかなければならないと思います。若者達が、毎日楽しく快適に過ごせて未来に夢と希望がもてるような社会であってほしいと思います。未来に生かせる知識、学問をどうやって教え導くか。一人一人がこの地球を守り混沌とした世界で強く生き抜く人材を育てていかなければならないと強く感じている次第です。

(令和2年11月20日 記)



学校長 國分 達夫

知念義裕校長先生の後任として、4月に着任しました國分達夫です。

同窓会におきまして、皆様にご挨拶をしますのは初めてのことで、少し自己紹介させていただきます。

教員としての振り出しは、本校の兄弟校である東京高校にて数学科の教員として着任をしました。当時を知る先生に言わせるとサッカーばかりやっていたという印象のようです。その後は、都立高校に転勤をし、15年間の管理職経験を経て退職をしました。管理職としては、「総合学科」という高校改革を担う「第三の学科」を東京都で初めて導入するという政策に参画をしました。そのモデル校である都立晴海総合高校の運営に副校長として関わり、教育課程等の企画、立案、運営を行うとともに、その教育内容や成果を全国に周知する業務を行いました。そして、この経験を活かして、2年間の開設準備期間を経て、キャリア教育を教育課程に位置付けるなどの特色を前面に打ち出して、都立葛飾総合高校を開校させました。再び戻った晴海総合高校を退職後は、聖徳大学にお

いて教授として、一般教養としての数学(数的処理)、教員採用試験対策講座、AO入試の企画・運営等を主な職務として、これまでに経験したことのない世界で働かせていただきました。

これらの経験を活かして、東京実業高校の発展に貢献しようと思気込みを抱いて着任をしましたが、新型コロナウイルスへの対応に追われ、それどころではありませんでした。教育界では、生徒に対して、身につけた知識、技能を基盤として、自ら設定した課題をより良く解決するために必要な力を育てることが求められています。私自身にも、正にこの生徒を育成する力が求められているように感じました。新型コロナウイルスの正体がはっきりせず、特効薬もワクチンもない中で、教職員・生徒が校内で安全に過ごすことが出来る環境を確保しつつ、教育活動を推進することは困難な課題です。多くの情報が溢れる社会状況のなかで、正確な情報を取捨選択しつつ、的確な判断をして学校運営を推進するのは、公立学校のように教育委員会からの通達があるわけではない私立学校においては、とても厳しいことであると痛感しています。この寄稿文を書いている今現在は、第三波がすでに到来しているとの報道がされていますが、教職員の力を結集してこの困難な状況を乗り切っていきたいと考えています。

同窓会の会員の皆様におかれましても、コロナ禍を乗り越えていかれることを心よりお祈りするとともに、母校への益々のご支援とご協力を宜しくお願い致します。

(令和2年11月18日 記)

学校の近況報告



副校長 小畑 雅一

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大にともない、本校も例にもれず大きな影響を受けた一年間でした。

■新型コロナウイルス感染症の影響

4月7日挙行を予定していた新入生のみを集めての令和2年度入学式は、前日まで実施する準備を進めていたのですが、その夕方に東京都から出された実施見送りの方針を受け、急遽新入生に連絡をし、中止といたしました。

その後学校は臨時休校となり、生徒たちは学校から発送された課題に自宅に取り組むとともに、SNSで送信された特別講義などの視聴を5月末まで続けることとなりました。

6月1日に学校は再開され、6月2日には2か月遅れの入学式は密集を避けるため2回に分けて実施し、その後3日から再開した授業では、最初の2週間は時差・分散登校、短縮授業で、各クラス生徒の半数ずつを午前と午後に分けて登校させ、授業を行いました。また、その後の2週間は時差登校、短縮授業に切り替え、生徒たちにはラッシュを避けて9時30分までに登校させ、授業時間も40分に短縮し、部活動などをせず下校させる毎日が続きました。そして7月1日より、ようやく平常授業が開始され、部活動なども時間を短縮して再開することとなりました。ただし、4月と5月の臨時休校で潰れた授業時間を確保するため、本来7月20日過ぎから8月末までの夏季休暇は8月8日から23日までの約2週間に短縮され、生徒たちにも物足りない夏休みとなってしまったようです。

2学期は8月24日にスタート。三密などに配慮した体育祭や東実祭の中止、冬期休暇の短縮や、3学期授業の期間延長など、今年度は最後までコロナ禍の影響を受けた特別な一年間になってしまいうそうです。

■部活動の活躍

●マーチングバンド部

今年度は1年生部員が17名入部し、部としても例年以上の活気を見せています。ただし、コロナ禍の影響で今年度は、9月に東京都大会が実施されたのみで関東大会は中止、全国大会は各校が演奏の様子を撮影し、その内容の審査により、出場校が決まるという変則型の大会となりました。本校は昨年度全国大会金賞の実績もあり、

第48回全国大会～e-Marching Special Edition 2020～に駒を進めることが出来ました。結果はグッドビジュアル賞を受賞しました。

●硬式野球部

秋の東京大会において、ブロック予選で2連勝をかざり本大会に進みました。本大会では1回戦で明大中野八王子高校に敗れ、2回戦進出はなりませんでしたが、春の都大会での活躍に期待したいと思います。

●陸上競技部

10月25日に前橋市で開催された関東高等学校選抜新人陸上競技選手権男子5000mにおいて、普通科2年生の藤井勇歩が優勝、同じく吉村智輝が2位入賞を果たしました。また、11月3日に荒川河川敷特設コースにて開催された全国高校駅伝東京都予選大会において、男子は6位入賞で関東大会出場を、女子も8位入賞を果たしました。

●男子サッカー部

高校サッカー全国選手権の東京都二次予選において、Bブロックで戦った本校サッカー部は、1回戦で優勝候補の帝京高校を破り、その後も快進撃を続け全国大会出場まであと2つの準決勝まで駒を進めました。西が丘サッカー場で開催された準決勝では、これも優勝候補の堀越高校を相手に善戦しましたが、残念ながら1対4で敗戦し、全国への道は来年以降に持ち越されました。

■教職員の永年勤続表彰並びに異動（敬称略）

●永年勤続表彰者

勤続20年：上原 直樹(社会)、深川 剛(工業)

●教職員の異動

新任教職員：田口 光成(社会)、清水 裕太(実習助手)

退職教職員：須賀 寛光(工業)、小林 正文(社会)

日比野重光(理科)、田原 定(実習助手)

國井 昭博(工業)、茂木 次郎(実習助手)

----- 令和3年1月31日現在 -----

東京実業高校同窓会会員総数

第95期(令和2年3月)卒業生まで

()内の数字は女子会員

会員数	総数	商業系	工業系	普通系
		総数	うち女子	総数
	37,327	14,265	17,629	5,433
	(3,613)	(2,612)	(17)	(984)
屋間部(同窓会)	33,101	11,910	15,758	5,433
(大15~令2)95期	(3,381)	(2,382)	(15)	(984)
夜間部(蛍窓会)	3,586	2,223	1,363	
(昭4~昭52)49回	(228)	(228)	(0)	
専門学校(五葉会)	640	132	508	
(昭35~昭48)14回	(4)	(2)	(2)	

第95期 卒業生数	商業系	工業系			普通系		
		機械科	電気科		ビジネス	文理	
			電気	IT			
合計	362	0	90	56	19	151	46
男子	314	0	90	56	15	115	38
女子	48	0	0	0	4	36	8

機械科

先端分野でも即戦力に
豊富な実習で知識と技能を養成



機械科科长 藤田 稔

1944年に設置された機械科は70余年の歴史を持ち、毎年多数の卒業生が東京及びその近県で活躍しています。機械科で学んだ技術は工業の基礎技術として、あらゆる分野で必要とされていることがわかります。

令和2年度、機械科は新入生56名を迎えました。現在、機械科は1年生が2クラス(56名)、2年生も2クラス(62名)、3年生も2クラス(62名)となっています。各学年のクラス担任は、
1学年A組：児島大祐(体育)、B組：羽田 雄(機械)
2学年A組：砂本 眞(機械)、B組：村上信人(機械)
3学年A組：上原直輝(社会)、B組：松田 稔(体育)の各先生方です。

機械科では、次の三点を特色としています。

- (1) 最先端のプログラムでIT時代の即戦力に
- (2) 多様な実習プログラムで実践的なスキルが身につく
- (3) モノを構想してカタチにする喜びを知る



機械科実習

最新のコンピュータやロボットを使った授業が数多くあり、社会で通用する実践的な知識を学ぶことで、問題を自ら解決する力を身につける指導をしています。

将来の進路設計に向けての資格取得にも従来通り力を入れておりますが、今年度は昨年度の残りの高所作業車の講習を行ったのみで、新型コロナウイルスの影響でなかなか講習会を実施できない状態が続いております。

同窓会の益々のご発展と同窓会の皆様のご多幸をお祈りし、機械科の近況報告とさせていただきます。

(令和2年11月20日 記)

電気科

【電気コース】

電気の基礎知識から資格取得まで
時代に即した技術者を育成



電気科科长 須賀 寛光

今年度、電気科の入学者は電気コース50名、ゲームITコース38名の計88名を新入生として迎えることができました。現在電気科は、電気コース158名、ゲームITコース99名の合計257名の在籍数を数え、電気コース1・3学年2クラス、電気コース2学年と各学年のゲームITコース1クラスの計8クラス体制となっております。昨年度まで非常勤講師として勤めていただきました清水裕太先生が4月から専任実習助手として授業や講習会等の教育活動に加わることが出来ました。

新型コロナウイルスの影響で電気科の行事も大きく変更となりました。例年この場をお借りて「第二種電気工事士」試験の結果等を報告させていただきましたが、5月31日実施予定の令和2年度上期試験は中止となり、受験手続をしていた生徒は10月4日実施の下期試験に移行となりましたので、この原稿提出時において、合格者の結果及び集合写真の記載が出来ない状況です。下期試験には「第二種電気工事士」試験に50名、「第一種電気工事士」試験に19名が受験をしました。

今年度前期の全国工業高等学校長協会主催のジュニ

【ゲームITコース】

理系大学進学を目標に

IT分野全般で活躍できる力を養う

アマイスターにおいて、電気科3年生で最高ランクのゴールド2名・シルバー3名・ブロンズ5名が称号を授与されました。

毎年、幕張メッセにて参加していました東京ゲームショウはオンライン(9月24日～9月27日)での参加と変わり、ゲームITコース3年生が授業(ゲームプログラミング演習)で作成したゲーム作品を短い準備期間でしたが、各グループとも見事発表することが出来ました。発表作品の一部を記載させていただきます。

同窓会皆様のご多幸をお祈り申し上げます。



見たことがないような敵が出て来る難易度が幅広い「横スクロールアクションゲーム」



王道の「縦スクロールシューティングゲーム」で、誰でも楽しめるように、難易度など幅広く設定できる。

(令和2年10月22日 記)

普通科 ビジネスコース

就職に有利な資格・検定の取得と
大学進学を同時に実現



ビジネスコース科長
田口 結香

現在、普通科ビジネスコースには359名の生徒が在籍し、専門性を高め、様々な検定試験（簿記・情報処理・ビジネス文書・社会人常識マナーなど）に挑戦することで個人の能力を向上させています。しかし、今年度は残念ながら、新型コロナウイルス感染症の影響で1学期に受験する予定の簿記検定やビジネスコミュニケーション検定が中止となり、検定試験を受ける機会が少なくなりました。しかし、現在では、検定試験の中止などはなく、1つでも多く資格取得ができるように補習で理解を深めている状況です。

ところで、2学期に入り卒業生である阿久津衿沙さんが教育実習に来てくれました。阿久津さんは在校時にはワープロ部、家庭科部、漫画研究部を兼部し、積極的に学校生活を過ごしていました。

教育実習中の研究授業では、3年生の「マーケティング

」の授業を担当し、市場調査の課題として赤城乳業株式会社の商品である「ガリガリ君」を設定し、iPadを用いて情報の収集・分析を行い、その調査の結果を生徒がプレゼンテーションで発表する授業を展開しました。生徒達はどのように市場調査を行い、企業が商品販売を行っているのかを身近に感じ興味を持ったようです。また、HRにおいては、自分がこれまでどのようなことを考え、大学に進み、そして教員になりたいと思ったのかを在校生に話してくれました。その中で、阿久津さんから「この学校の先生は親身になってくれる。それがきっかけで、教員を目指そうと思った」と話しており、とても嬉しく思います。私たち教員も邁進していきたいと思っています。



研修実習の阿久津衿沙さん(中央)と生徒たち

(令和2年11月20日 記)

普通科 文理コース

双方向型の授業と特別講座により
全員の志望校現役合格をめざす



文理コース科長
関根 章道

1976（昭和51）年に設置された普通科は、2001（平成13）年より普通科文理コースと名称を変更しました。設置当時から「4年制大学現役合格」を目標とし、今年度で44年目を迎えます。

一般社会での大学進学に対する意義は、時代とともに変容しておりますが、その必要性は変わりません。2019年度の4年生大学への進学率は、全国平均で54.7%、東京都では65%を超えており、数年で全国平均60%以上が大学に進学する時代になると予想されています。本校における文理コースの存在意義はますます高まっています。

さて、普通科文理コースでは、次の三点を重点とし、指導しています。

- (1) キャリア教育を通しての進学指導
- (2) 生徒たちのレベルに合った学習の展開
- (3) 大学進学に向けた実力の向上。

(1)については、Benesse社の「進路サポート」を取り入れ、生徒自らの探求型進路学習を指導しています。さ

らに、同社の「classi」を使い、休み中の宿題を一齐に配信したり、自身で出来なかったポイントをウェブ動画等で復習・確認させています。

(2)については、特に数学で習熟度別授業を展開し、生徒のレベルに合った授業で理解度を高めるようにしています。

(3)は、城南予備校から派遣された講師による授業とし、1・2年生の希望者（今年度は85%の生徒が参加）を対象に年間約20回の土曜講座を実施しています。講座内容ですが、1年次は英語と数学、2年次からは国語も選択で加わり、90分授業です。また、実力診断テスト等、ベネッセ模試でのGTZ（学習到達ゾーン）の向上のためと位置付け、通常の授業に加え、模試の振り返りのための土曜講座も設定しています。

土曜講座のない土曜日は、全国模試や英検・数検、また大学入試対策英語講座（3年生希望者）等となりますので、文理コースの生徒は学校6日制という意識で学習していると言えます。

文理コースには、現在3学年合わせて94名の生徒が在籍しています。12月の文理コース集会では、校長先生による講話、検定取得などの奨励賞授与、そして大学入試共通テスト・一般入試に挑む3年生への壮行会が行われます。

今後も文理コースは、時代の変容に身をゆだねつつ、伝統を継承してまいります。

(令和2年11月20日 記)

部活動

女子サッカー部

「人間力・サッカー力」



女子サッカー部
顧問 清水 博信

■これまでの歩み。

2016年	<ul style="list-style-type: none"> 女子サッカー・フットサル愛好会として創部。 首都圏フットサルリーグ参入。
2017年	<ul style="list-style-type: none"> 東京都女子サッカー連盟に加盟。 4部リーグ参入、結果は10チーム中9位。
2018年	<ul style="list-style-type: none"> 4部リーグ優勝、15チーム中1位。
2019年	<ul style="list-style-type: none"> 3部リーグ昇格、10チーム中3位。

2020年3部リーグ優勝を目指して活動をしている。火曜日のOFF以外は週6日間で活動している。現在は1年生4名、2年生3名、3年生3名の計10名でリーグ戦を戦っている。

練習のテーマは“楽しく”サッカーをやること。その中で勝ちにこだわりを持つこと。当たり前なことではなく、謙虚な姿勢を持つこと。ボールやマーカーがあることに感謝すること。初めの2年間は部費もなかったのも、男

子が使わなくなったボールをいただいて練習をした。ボールを磨いて大切に大切に扱った。マーカーもビブスも寄付してもらったもの。当たり前ではないという謙虚さが人間力の土台となる。その先にサッカー力があり、溢れそうになればまた人間力を大きくできるように振り返る。しかし、逆も言えることで、どちらかが欠けてしまえば衰退していくと考える。後者にはならず前者であり続けたい。また、卒業生がいつでも帰ってきてサッカーができる場所でありたいと思う。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響で参加できる大会も限られてしまっているが、その中でも多くの方から応援をいただき、嬉しい限りです。この感謝の気持ちをサッカーを通して恩返しをしていきたい所存である。

引き続き応援のほどよろしくお願いいたします。



女子サッカー部員

(令和2年11月20日 記)

生徒会



生徒会会長 松原 想大

今年度、私たち生徒会は1年生6名、2年生1名の計7名で活動しています。

1年生が多い為、より新しい意見が生まれ、新たな生徒会が作られつつあると感じています。

今までの生徒会の活動としては、新型コロナウイルス感染症拡大の状況から4月に入学式を行えず、6月に入学式、9月に生徒会役員選挙、10月に先生と生徒の懇談会と球技大会を行い、11月にオンラインという形で文化祭を行いました。今年度は新型コロナウイルスもあり行事が通常通り行えませんでした。しかし、生徒会は一人

一人が行事に対して意見を出し合い通常通り行えない中でも全員が協力し、成功に収めることができました。

この環境での活動を通して生徒会内で【連携力、対応力】が鍛えられたと思います。

これからの行事も精一杯頑張っていきます。

生徒会は全生徒と先生方の支援があり成り立っております。

どうぞこれからも我々生徒会執行部をよろしくお願いいたします。

100周年に向けて皆さんと一緒に、新しい東京実業高等学校を目指し頑張っていこうと思います。

(令和2年12月22日 記)



生徒会誌「蒲公英」、「together」の発行も行っています。

オンライン東実祭



今年度の東実祭は、新型コロナウイルスへの対応策として、例年の形式での実施を中止としました。ところが、生徒の東実祭への思いは強く、様々な困難を乗り越えて見事にオンラインでの実施にこぎつけました。

ここに至るまでの生徒一人ひとりの熱意を込めた取り組みは、今後の教育活動にも大きな影響を与えることを確信しています。

校長 國分 達夫

オンライン東実祭に寄せて



生徒部長 小川 欽也

世界を震撼させている新型コロナウイルス感染拡大で、今までの「当たり前」がそうでなくなりつつあります。普通にできていたこと、目の前にあったものが、突然できない、失う…といった異常な状況におかされてしまいました。我々はこれらに逆らったところで、どうにかなるものでもなく、この状況を受け入れながらも、新たなことを模索し、変容していかなくてはなりません。

学校生活や行事においても様々なことが中止・変更を余儀なくされました。特に3年生においては、修学旅行や最後の体育祭も中止となり、高校生活の思い出作りの中心といえる行事を失ってしまいました。このような中ではありますが、僅か一歩でも半歩でも前に踏み出そうと思い、文化祭においては従来の東実祭ではなく、感染防止の観点から安全安心面を優先し、「オンライン東実祭」という形を選択しました。初めての試みで、新たな挑戦でもありました。

9月初旬、オンライン開催という趣旨を理解した上で実行・サポートしてくれる有志32名の1・2年生が集い、動き出しました。実行委員長、副委員長を中心に総務局、PC局、イベント局の役割に分かれ、尽力してくれました。初めての試みは簡単ではなく、著作権問題など様々な壁にぶつかりましたが、ひとつの形が出来上がりました。難しいことに挑戦するとき、できない理屈を考えるよりもどうすればできるかを考え、明るく前向きにチャレンジした一つの証を残すことができたと思います。

オンライン東実祭を通じて成長

今年はコロナ禍により、例年通りの賑やかな東実祭を開催するのが困難になり、オンライン東実祭を開催することになりました。

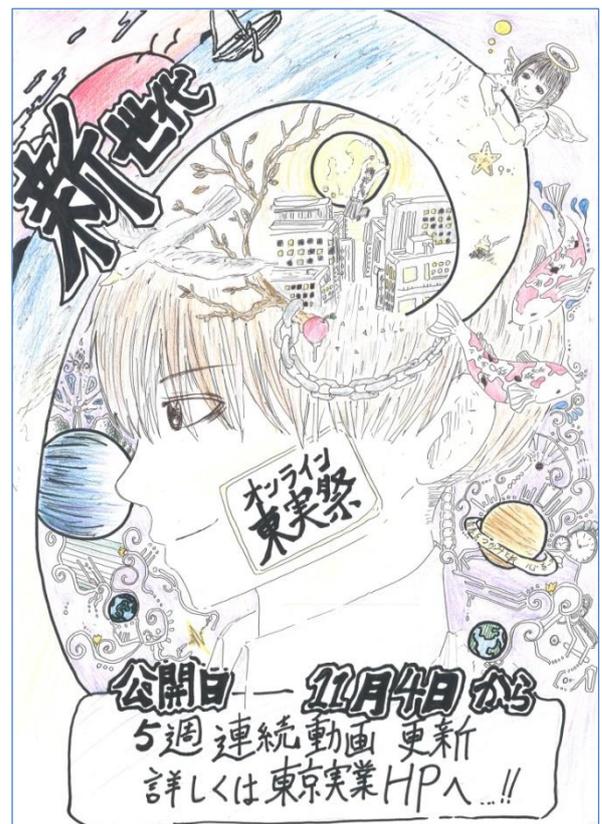
初めは、先生方とどのように開催するか相談する毎日でした。話し合いで出た問題点の解決や仕事内容など、目の前のことをするのに手一杯でした。また、優先すべきことができておらず、先生から注意を受けることもありました。しかし、徐々に委員長としての役目を理解し、動けるようになりました。一番の苦労は、平日は勿論、土・日曜日にも学校へ行き、実行委員数名と状況把握、編集作業などに追われ、曜日も忘れほど家より学校にいる時間が多かったことです。

全てが初めてのことで、ゼロからのスタートでしたので悩んだり迷ったりして、かなり辛かったです。しかし、委員長としての立場や責任を感じながら、実行委員メンバーに支えられ、貴重な経験ができました。自分たちにとっては大きく成長できたと思います。

実行委員長 清水 巴弥斗 (普通科2年)



オンライン東実祭実行委員挨拶(中央:清水委員長)



作画 中野 晴太郎(普通科3年)

定期総会報告

第2号議案 令和元年度収支決算報告

令和元年度 収支決算報告書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日まで)

(単位：円)

収入の部			支出の部		
科目	予算	決算	科目	予算	決算
前年度繰越金	4,224,849	4,224,849	事務消耗品費	250,000	245,631
入会金	3,660,000	3,620,000	通信連絡費	130,000	136,698
寄付金	100,000	130,000	ホームページ管理費	170,000	166,082
広告費	45,000	39,560	印刷費	50,000	64,692
総会会費	140,000	185,000	会議費	400,000	376,700
旅行会費	500,000	421,404	総会助成費	340,000	380,423
新年会会費	350,000	307,000	総会会費	240,000	185,000
東実祭	200,000	172,000	旅行助成費	100,000	126,468
受取利息	300	19	旅行会費	500,000	394,320
雑収入	260,000	241,000	新年会助成金	100,000	290,584
(総会)	100,000	90,000	新年会会費	500,000	307,000
(旅行)	0	0	東実祭助成費	80,000	66,088
(新年会)	150,000	141,000	東実祭費	200,000	172,000
(拡大幹事会)	10,000	10,000	会報発行費	640,000	656,028
(その他)	0	0	慶弔費	350,000	291,000
会議会費	54,000	48,000	卒業記念品費	360,000	342,122
(拡大幹事会)	54,000	48,000	積立金	400,000	0
(その他)	0	0	交通費	15,000	15,000
			予備費	100,000	55,000
			雑費	1,000	324
			奨学金	500,000	500,000
			次年度繰越金	4,108,149	4,617,672
			(普通預金)	4,008,149	4,429,491
			(現金)	100,000	188,181
収入合計	9,534,149	9,388,832	支出合計	9,534,149	9,388,832

■積立金等次年度繰越金内訳(別途会計)

金融機関名	前年度残高	増減	利息	本年度残高	備考
定期預金(みずほ)	15,823,970	0	1,238	15,825,208	定期預金
定期預金(三菱UFJ)	10,118,972	0	857	10,119,829	定期預金
合計	25,942,942	0	2,095	25,945,037	



総会出席者(母校地下1階小ホールにて)

出席者数は、懇親会が中止されたこともあり、例年より少なく40名(会員32名、学校関係者8名)でした。

定期総会

第40回定期総会は、令和2年6月6日(土)14時より、母校小ホールにて開催されました。

議事に先立ち、永眠された同窓会関係者へ黙禱が捧げられ、臼田佳彦会長、國分達夫校長(同窓会名誉会長)の挨拶の後、会長が議長となり次の5議案が議場に諮られ、いずれも全会一致で原案通り可決承認されました。

第1号議案 令和元年度事業報告

第2号議案 令和元年度収支決算報告並びに監査報告

第3号議案 令和2年度事業計画(案)

第4号議案 令和2年度収支予算(案)

第5号議案 任期満了に伴う役員改選(案)

議事終了後、平成元年度2年生(現3年生)のスカラシップの認定授与式は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で省略され、小畑副校長より学業奨学生、資格・技能奨学生、スポーツ・文化奨学生の各受賞生徒の発表があり、定時総会は滞りなく終了いたしました。

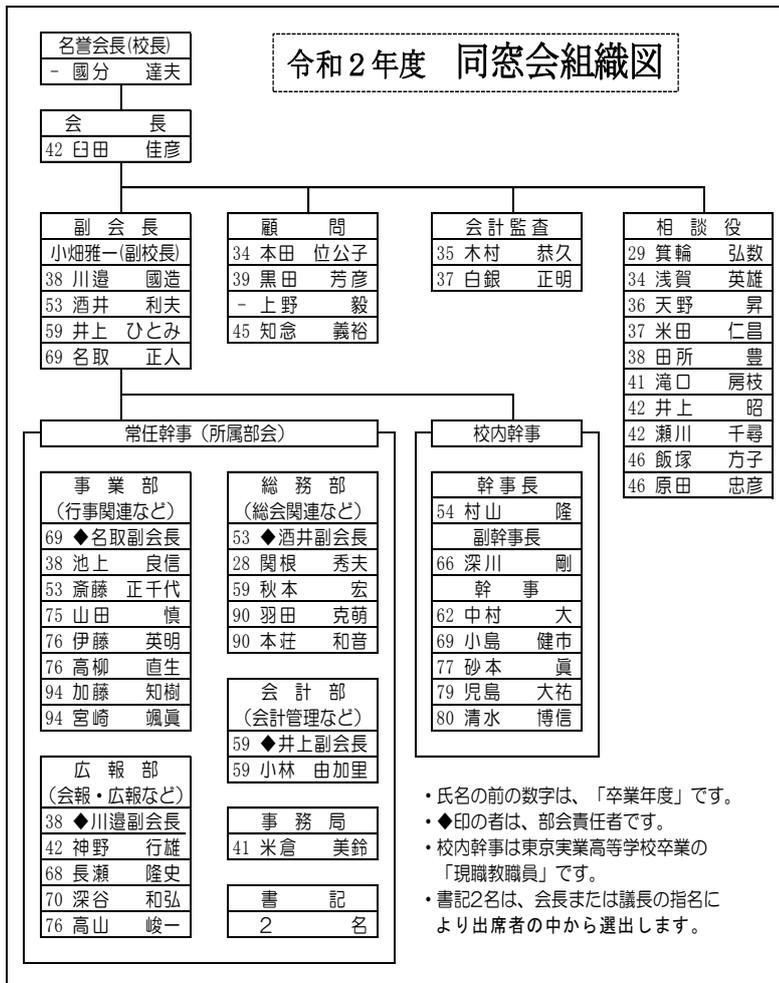
第5号議案の役員改選では、下表の17名が改選されましたが、他の役員は全員「重任」となりました。なお、改選後の同窓会組織体制は、次ページに記載の「令和2年度同窓会組織図」の通りです。

役員改選者(17名)

卒期	氏名	役職名	
		現任	改選
45	知念 義裕	名誉会長	顧問
—	國分 達夫	新任	名誉会長
37	白銀 正明	副会長	会計監査
42	瀬川 千尋	副会長	相談役
29	箕輪 弘数	常任幹事	相談役
42	鈴木 和雄	常任幹事	辞任
56	佐々木 健	常任幹事	辞任
59	井上 ひとみ	常任幹事	副会長
69	名取 正人	常任幹事	副会長
77	山本 真史	常任幹事	辞任
79	鈴木 亮太	常任幹事	辞任
94	加藤 知樹	新任	常任幹事
94	宮崎 颯真	新任	常任幹事
16	小宮 龍雄	相談役	辞任
18	笠原 忠男	相談役	辞任
32	川名 重士	相談役	辞任
—	松尾 高佳	会計監査	辞任

懇親会

例年定期総会後に開催しておりました懇親会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響など諸般の事情に鑑み、中止させていただきました。(総務部)



➤ 第3号議案 令和2年度事業計画

■ 総務部(定期総会及び庶務一般等に関する事業)

1. 第40回 定期総会並びに懇親会の開催
 - (1) 定期総会
 - ・日時:令和2年6月6日(土) 14時～
 - ・場所:東京実業高等学校 小ホール
 - (2) 懇親会
 - ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止
2. 拡大幹事会の開催
 - ・日時:令和2年11月20日(金) 18時～
 - ・場所:プラザ・アペア
 - ・会費:3,000円
3. 庶務一般関係
 - (1) 会員の名簿の整理及び作成
 - (2) 会員の同窓会事業への参加促進活動
 - (3) 卒業記念アルバムの管理
 - (4) その他
 - 1) 常任幹事会等の開催
 - 2) 新幹事との懇親会の開催
 - 3) 学校行事への出席

■ 事業部(年間行事等に関する事業)

1. 第37回 懇親旅行の実施
 - 9月中旬～下旬に1泊2日の国内旅行を計画
 - ※新型コロナウイルス感染症など諸般の事情を鑑み実施の有無を決定
2. 東実祭への参加
 - ・日時:令和2年10月31日(土)・11月1日(日)
 - ・催し:同窓会の部屋の設営、校章入りドラ焼き、綿菓子の販売など

3. 令和3年新年会の開催

- ・日時:令和3年1月30日(土) 17時30分～
- ・場所:品川プリンスホテル又は崎陽軒本店(横浜)
- ・会費:8,500円～9,500円
- ※卒業後3年以内の会員は無料招待

■ 広報部(会報誌の発行、ホームページの運用管理及び広報活動等に関する事業)

1. 会報誌関係
 - (1) 東実会報32号の編集及び出版
 - (2) 頒布(配付・送付)
2. ホームページ関係
 - (1) 随時更新及び運用管理
 - (2) 年間行事等の情報提供及び参加者の募集
 - (3) 会員からの各種変更届等の対応
 - (4) デザインリニューアルの企画推進
3. 広報活動
 - (1) 会報誌の広告掲載企業の募集
 - (2) ホームページのバナー広告企業の募集

■ 会計部(予算・決算及び寄付・協賛・贈呈等に関する事業)

1. 予算・決算関係
 - (1) 現預金の出納業務
 - (2) 当該年度の予算管理及び収支決算書の作成
 - (3) 次年度予算の集計及び予算書の作成
2. 寄付・協賛・贈呈関係
 - (1) 卒業生への卒業記念品贈呈
 - (2) スカラシップ(奨学金)への寄付
 - (3) 部活へのお祝い金贈呈
 - (4) 役員会で承認可決された慶弔金・寄付金等

新任役員紹介



常任幹事 宮崎 颯眞
(第94期代表幹事)

この度、常任幹事に就任致しました第94期卒業の宮崎颯眞と申します。

在学中は機械科での学習と同時に、電気工事士をはじめとした多くの資格取得を行い、今までにない多方面で様々なことを学びました。工芸部に所属したこともあり、クラスメートだけでなく部を通じての友達や先輩、後輩たちと楽しく騒ぐような毎日を送り、充実した3年間は本当に一瞬のように過ぎ去ってしまいました。

現在は千葉工業大学へと進学し、機械についてより専門的なことを学習しており、在学時代に学んできたことを生かし、より専門的な学習を行っています。

現在このような情勢であり中々お会いできる機会は限られていますが、今後は先輩方からの伝統や技術を習得し、「ふれあいと語り」が続けていけるよう、活動を行って参ります。そして、現在よりも積極的な参加者、特に私たちのような若手の参加を増やし、幅広く活気のある同窓会にしていきたいと思っています。

今後とも精進して参りますので、宜しくお願ひ申し上げます。



常任幹事 加藤 知樹
(第94期副代表幹事)

この度、常任幹事に就任しました第94期卒業の加藤知樹です。

高校在学中は電気科ゲーム IT コースで、プログラミングの勉強やリモコン操作で走る車作り、チームで作ったゲームを東京ゲームショウへ出展するなど、貴重な経験をすることができました。卒業後は大学へ進学してコンピュータ応用技術を学んでいます。具体的にはコンピュータの基本となる技術や、実社会でそれをどうやって応用・実践するかを学んでいます。またコロナ禍になる前は、部活のサッカーやボランティア活動にも参加していました。現在は大学2年生で、オンライン授業と通学の両方で頑張りながら、自分の研究テーマを模索中です。これから先の就職がどうなるのか不安もありますが、大学在学中に学べることを活かして、就職先を見つけていきたいと思っています。

東京実業高校には、これまでの経験を踏まえて、同窓会常任幹事という立場で、同窓会の活動を通じて少しでもお役にたてればと思っています。皆様どうぞよろしくお願ひいたします。

東京実業高等学校は2022年に創立100周年を迎えます。

創立100周年記念号 投稿記事募集

本会報誌34号(2023年3月に発行)は、創立100周年を記念特集号として、皆様が学校に在籍していた当時の学校内外で写した写真や投稿記事を掲載したいと企画しております。自由テーマの他、下記のテーマで募集しておりますので、奮ってご投稿ください。

記

テーマ1 「在校中の思い出」

テーマ2 「私の歩んだ道」

文字数は最大1100字までとし、写真の挿入(ただし、2枚以内)がある場合は800字までとします。

なお、投稿文の加除、顔写真の掲載、提供写真の取扱い等については、13ページに記載の通常号と同様とさせていただきます。

以上

第41回(2021年)定期総会 開催のお知らせ

第41回(2021年)の定期総会を下記の要領で開催いたします。

記

日時：令和3年6月5日(土)

15時00分～18時00分

場所：プラザ・アペア(蒲田駅南口)

総会終了後、会費3,000円で懇親会を開催いたします。会費は、卒業後3年以内[平成31年3月卒業(第94期)～令和3年3月卒業(第96期)]の会員は、招待となりますので会費は無料です。

クラス会・同期会を兼ねての参加も歓迎しますので、各期卒業のクラス幹事の方々、クラスメートの皆さんをお誘いし、是非ご参加ください。

以上

注) 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、会場の変更および懇親会の中止等あります。

主な行事報告

第37回 懇親旅行

昨年9月下旬～10月上旬に開催を予定しておりました「第37回懇親旅行」は、7月22日(水)開催の常任幹事会において、新型コロナウイルス感染症による情勢を鑑み、中止することにいたしました。

この懇親旅行は、昭和58年(1983)8月に学校の「山中湖学寮」への一泊旅行から始まり、毎年実施しており本年度は37回目になります。

次年度は、開催できるよう願っております。(事業部)

令和2年 拡大幹事会

「令和2年拡大幹事会」は、昨年11月20日(金)、18時より「プラザ・アペア」において、25名(学校関係者6名、同窓会役員19名)の出席もとに開催されました。

臼田佳彦会長、國分達夫校長(名誉会長)の挨拶のあと議事に入り、各部(総務・事業・広報・会計部)の責任者より事業活動について報告があり、続いて小畑雅一副校長より学校の近況や部活動の活躍状況などについて報告があり、会議は終了となりました。

会議後に懇親会を開催し、懇談しながら情報交換を行い相互の協力・連携関係を深めることができました。(総務部)

令和3年 新年会

令和3年1月30日(土)に開催を予定しておりました「令和3年新年会」は、昨年12月上旬に新型コロナウイルスの感染拡大が収束していないことなどから、ご来場されます会員の皆様並びに学校関係者の健康と安全を第一に考慮し、開催を中止いたしました。

この新年会は、昭和57年(1982)に開催してから、一度も途切れずに開催され、本年度は丁度40回目にあたる年でした。半世紀以上の年齢差のあるOB・OGが出席し、同窓会ならではの楽しいひと時を過ごすことが出来る交流の場でもあり、毎年楽しみにしており中止は誠に残念です。(事業部)

東京実業高等学校のホームページ

<http://www.tojitsu.ed.jp/>

随時更新して学校の最新情報を紹介しておりますので、是非ご覧になってください。

令和2年度 東実祭

10月31日(土)・11月1日(日)に開催予定の「令和2年度東実祭」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となり代わりに「オンライン東実祭」を開催し、11月4日(水)から学校のホームページに特設Webページを掲載し、生徒達が制作した各種コンテンツより動画・静止画を配信する“Web文化祭”の形式にて行われました。“オンライン東実祭”についての記事を7ページに掲載しましたのでご覧ください。(事業部)

新幹事懇親会

同窓会幹事は、卒業後同窓会と同級生を繋ぐ担当責任者としての役割を担っていただくため、各クラスから2名を選出していただいております。

毎年2学期の期末試験終了後に、選任された新幹事に対して、同窓会活動の説明や同窓会現任役員の紹介などを兼ねて懇親会を開催しておりますが、本年度はコロナ禍のため中止いたしました。第96期の同窓会幹事および担任の先生は下表の名簿の通りです(総務部)

令和2年度(第96期) 同窓会幹事名簿

クラス	担任先生	幹 事	
機械A	上原 直輝	池澤 滉大	内田 亮
機械B	松田 稔	田代 貴慎	◎古田 人陸
電気A	片山 智裕	○山田 拓海	高松 大輝
電気B	永津 圭一	伊藤 優	野村 篤紀
電気ITA	深川 剛	小原明杜斗	○宮崎 蓮碧
普通A	遊佐みゆき	須永 脩馬	大滝 美羽
普通B	為田 純兵	○溝井 和心	金津 美月
普通C	田中 秀明	原 元太	安西 陽奈
普通D	寺岡しのぶ	青木 海瑠	○豊嶋 愛染

- ・学年主任は、小島 茂先生です。
- ・◎印は代表幹事、○印は副代表幹事です。



令和2年度(第96期) 同窓会幹事



学校法人 上野塾

東京実業高等学校

〒144-0051 東京都大田区西蒲田8丁目18番1号
TEL.03-3732-4481 FAX.03-3732-4456

東京実業高等学校は2022年に創立100周年を迎えます。

当校ホームページへのアクセスはこちら↓

学校説明会・体験入学の詳細な内容や、最新のTOPICSなどをお届けいたします。また、要予約制のイベントもこちらのホームページより受付をしています。



東実

検索

寄稿・投稿欄

後期高齢者から終活へ

昭和36年度に母校を卒業してから70年が終えようとしております年齢となりました。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で外出がいろいろな角度で制限を受けておりますので、各位様それぞれが、不自由をしていることと存じます。

78歳を迎えるにあたって運転免許更新に際し、東京都公安委員会の規則により、認知症機能検査を受けましたが、結果は79点でした。

本来ならば簡単な問題でしたが、自分の予想に反し、記憶力が著しく低下しており、がっかりしましたが、これが現実であると認識した次第です。

ちなみに、判定基準は以下となっているようです。

- 76点以上…記憶力、判断力に心配ありません。
- 49点以上76点未満…記憶力、判断力が少し低くなっています。



相談役 天野 昇
(第36期・商業科)

- 49点未満…記憶力、判断力が低くなっています。

仕事も第一線から退き、これからは友人たちとどんどん会って、大いに歓談の時を過ごそうと思っていましたが、コロナ禍での状態で、思うような活動が出来なく残念です。寄る年波を考えますと早く収束して欲しいものです。

(同窓会の皆様へ)

私は、平成20年6月の定期総会で副会長退任と同時に相談役に就任し、現在に至っており同窓会とは長年にわたって深く係わらせていただいております。今後も微力ではありますが、健康と体力の許す限り同窓会のお役にたちたいと思っております。

最後に同窓会の皆様の健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

フリーランスカメラマン
という仕事

竹内 雄一
(第54期・普通科1期)

私は、普通科1期生(昭和54年卒業)として社会へ出ました。現在、フリーランスのカメラマンと言う仕事をしています。

2001年セガは、投資家で偉大な経営者、大川功氏を亡くします。会社立て直しのため、早期退職者プログラムが実施され、私は転機を迎えました。

以前から「次は人が作ったものを売るのではなく、自分自身の能力を売れる仕事をしたい」と思い始めていたので、20年間、勤めたIT業界から、プロカメラマンへの転身を決意しました。

会社員を辞めてすぐに、プロカメラマンになれる訳はありません。知り合いのプロカメラマンの助手として、下積みをこなし、仕事を覚え、後ろ盾もないまま独立し、プロカメラマンになりました。ここからが苦労の始まりでした。

私はプロとして、シャッターを押す、その一瞬に全霊を込めます。カメラは、マシンなので感情はありません。対象のありのままの姿から、依頼者が笑顔になる主題を捉え、シャッターをきります。そこに私の想い、魂の叫

びに似た感情が発露され、指先の緊張が極限に達します。

また、プロとして仕事をしていく上で一番難しいのが、一面を「お金にする事」です。昨今、写真は誰にでも簡単に綺麗な写真が撮れるようになりました。しかし、その写真をお金にするのが至難の技です。ですから私に出来ることは、常に最高のパフォーマンスを発揮し、顧客に喜んで頂けるような写真を撮る事しかありません。先輩に言われた一言、「カメラマンは結局、サービスマンだから、いかにお客様に喜んでもらえるか?それしかないんだよね」

今は、この言葉の意味がよく分かります。ですから、一枚の写真でも手は抜けません。結果で評価されることですから、受けた仕事は常に最高の満足が得られるように、その都度ベストを尽くします。金額ではありません。仮に手を抜いたその作品を見て、「なーんだ、この人はこんなもんなんだ。」と思われたら、次から仕事は来ません。

このような、厳しくも、楽しく、緊張のある世界に足を踏み入れている現在です。

有志の旅行

顧問 本田 位公子 (第34期)

11月10日～11日に同窓会の有志17名で、伊豆稲取に貸切りバスを利用して旅行に行ってきました。

往路は、日本最長400mの人道吊橋「三島スカイウォーク(2015年12月14日開業、高さ70.6m、主塔高さ44m)」に寄り、橋の上から眺める富士山や広大な駿河湾、折り重なる伊豆の山並みは絶景でした。そして、次に『伊豆の踊り子』で有名な「浄蓮の滝」に立ち寄り、16時頃宿の「いなとり荘」に着きました。

宿はオーシャンビューの部屋で、大海原が目の前に佇み、見渡す限りの海と空は、「海一望絶景の宿」と言われる通りの素晴らしい宿で、夕食は大広間でゆったりと豪華な料理に舌鼓を打ち、二次会はまた大きなホールをこっそりと(笑)借りて楽しみました。

翌日は、20万坪の広大な敷地の「アカオハーブ&ロー

ズガーデン」を見学、海を背景とした雄大な美しい景色を眺めながら、各種のハーブ、秋バラ・ノボタン・ダリアなどの花を満喫した後、「みかん園」に立ち寄りミカン狩りを楽しみ帰路につきました。

今回の旅は、GoToトラベルの恩恵で一人6,000円分のクーポン券をいただき、全部お土産代に使い地元へ還元してきました。また、企画は田所豊(第38期)さんがしてくださり、道中はゲーム、クイズ、歌ありでバスに揺られてウトウトする時間もないほど、楽しい旅で大変満足いたしました。田所さんの大サービスと献身ぶりに感謝いたします。

2月頃からコロナ感染という言葉を聞かない日はなく、様々なイベントやコンサートが延期や中止となり、デパートまでもが休館し、今までに経験したことのない事態の中、この旅行はお互いの健康を確かめあったひと時でもありました。これからもお互いに健康に留意して、コロナ感染には充分気をつけてまいりましょう。

2020年12月5日 記



三島スカイウォークにて

いなとり荘(夕食)にて

浄蓮の滝(伊豆の踊り子像)にて

本会報誌について

○頒布(配付・送付)

本会報誌は、発行年度の卒業生には直接配付し、卒業されてから3年までの会員、同窓会役員、行事出席者、寄稿者および広告掲載企業様等には、4月下旬に送付しております。また、定期総会や新年会開催の際に受付にて希望される方に配付しております。

在庫部数に限りがありますが、クラス会・同期会等の開催の際に必要な方は、事務局にご連絡いただければ差し上げますので、ご遠慮なくお申込みください。

○写真及び随筆文等の募集

皆様からの在校中の思い出やクラス会・同期会・近況報告などに関する写真や随筆・紀行文などを募集しております。文字数は最大1100字までとし、写真の挿入(ただし、1枚)がある場合は800字までとします。

なお、投稿文は編集において編集担当者の判断により、加除させていただくこともありますので、ご了承ください。また、原則として投稿者の顔写真を掲載させていただきますので、ご承諾のうえご提供くださいますようお願いいたします。ご提供いただいた写真は、使用後返却いたしません。

○バックナンバーの閲覧

本誌のバックナンバー(創刊号～本号)は、同窓会ホームページで閲覧できます。是非ご覧になってください。

寄付者(敬称略・卒期順)

(平成2年2月1日～令和3年1月31日)

No.	卒期	氏名	寄付金
1	第29期	箕輪 弘数	10,000円
2	第33期	長谷川 信夫	10,000円
3	第34期	本田 位公子	10,000円
4	第42期	臼田 佳彦	10,000円
5	第45期	知念 義裕	100,000円
6	第45期	深堀 精一	10,000円
7	第45期	長谷川 敏彦	20,000円
寄付者数 7名		合計金額	170,000円

東実の校訓

親和誠実(しんわせいじつ)

個性のふれあいの中で人と親しみ、正しく真心をもって真面目にことにあたる。

不撓不屈(ふとうふくつ)

踏まれてもなお立ち上がる根強い雑草のごとく、いかなる困難に直面してもくじけず、夢の実現に向け最後までやり抜く。

会員通信欄

宮島 昭五郎(第23期)氏より封書にて

東京実業高校同窓会
会長 白田 佳彦 様 侍史

拝復 新緑の候となりました。この度は、東実同窓会報31号をお送り下され、有難うございました。

少子高齢化の中、種々のご苦勞により充実を続けておられることが、会報により一層知ることができ嬉しく存じます。加えて、母校及び同窓会各位の皆様への深い敬意を表する次第です。

私は、同窓会総会・懇親会及び東実祭等には、以前参加させて頂きましたが、高齢でもあり(今年90歳になります)加えて、脊柱管狭窄症により歩行が充分ではなくなりました。従って参加致しかねますことをお許し下さい。なお、2022年には、母校が創立100周年を迎えられるとのことで、素晴らしく感無量です。まさに「光陰矢の如し」です。

私は、昭和18年に商業科に入学しましたが、その後時勢の変化により機械科となりました。更に学制の変更により普通科(東京高等学校)に異動しました。この間、軍国主義による教練の施行、勤労働員による鋳物工場の勤務、空襲による校舎、居宅の焼失が続きました。戦後は、民主主義の勃興(ぼっこう)により生徒会が盛んになり、新聞部の創設により『東実タイムズ』を創刊しました。また、10年間定時制の講師を勤めました。なお、卒業後の同期会については、母校訪問の他一泊旅行を楽しみましたが、高齢により解散しました。現在、新型コロナウイルス感染症による肺炎の猖獗(しょうけつ)が進み、東京都は非常事態宣言が続いております。くれぐれもご自愛の程お祈り申し上げます。乱筆乱文をお許し下さい。

敬具

令和2年5月10日

第23期卒 宮島 昭五郎

「令和2年新年会(2020.1.25)」返信ハガキより

○浜住 美美枝(第34期) おめでとうございます。夏にはオリンピックが開催され、多くの外国の方々が来られます。日本の良い所を見て行ってほしいと思います。皆さま方のご健勝をお祈り申し上げます。

物故者 memo

○小宮 龍雄(第16期)

小宮龍雄氏は、会計監査を務めていただいた後、お亡くなりになるまで、現任の相談役として永年にわたって当会の発展にご尽力いただきました。

○川名 重士(第32期)

川名重士氏は、常任幹事、副会長、相談役、監査役を歴任され、永年にわたって当会の発展に多大な貢献をしていただきました。

「第40回定期総会(2020.6.6)」返信ハガキより

○原川 清(第25期)

同窓会報いつも楽しく見ております。ありがとうございます。母校の在校生のスポーツ、文化活動等の活躍を期待し、応援しております。

○日下部 銃五郎(第38期)

高校卒業50周年記念大塚クラスの一泊旅行で皆元気でお会い出来ました。数年前の和田信久君、小池豊君に続き、今年、鈴木昭彦君が旅立ったことを会報で知りました。残念、ご冥福を祈ります。合掌。

○波田野 紘一(第38期)

現在76歳、新型コロナウイルス感染症のために外出を自粛しております。東実祭は楽しみです!

○飯塚 守昭(第38期・野球部)

“報告、同期野球部の田村禎明様が令和元年10月死去されました。残念です。今年、コロナウイルスで同期会は中止、夏の都大会予選もどうなるか心配です。いろんなイベントが中止になって困りますね。

○田中 誠治(第38期)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、私達の生活に大きな影響が出ている中、東実同窓会報を拝読し、令和の時代に取り組む、近況報告に接し、今後の活躍に期待しています。

物故者(敬称略)

下記の方々が逝去された旨、事務局に連絡がありました。ここに謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

卒 期	氏名 () は旧姓	没 年
第16期	小宮 龍雄	令和 元年 12月
第16期	和田 邦宣	令和 2年
第17期	川田 信也	平成 28年 3月
第17期	宮田 昇	平成 30年 4月
第17期	田中 豊彦	
第21期	井上 善男	平成 29年 9月
第21期	松下 修也	平成 30年 5月
第22期	白石 英二	令和 2年 5月
第29期	江藤 広司	令和 元年 12月
第32期	川名 重士	平成 30年 2月
第35期	山之内 富夫	
第35期	新井 功	平成 29年 10月
第37期	多田 誠之	平成 30年
第38期	田村 禎明	令和 元年 10月

ホームページリニューアルのお知らせ

当同窓会のホームページは、平成16年(2004年)にインターネットに公開し、随時更新して同窓会活動の最新情報の提供と本同窓会報のデジタル版(創刊号~本号)などを掲載して、広く会員ならびに関係者に閲覧いただいておりますが、公開から十数年が経ち、掲載情報の拡充と画面を見やすくするため、昨年9月にデザインを全面的にリニューアルいたしました。アドレスの変更等はありませんので、ぜひご覧いただき同窓会行事等に参加いただき、母校での思い出を懐かしみいただければ幸いです。(広報部・事務局)

uno CO.LTD.

ビジュアルプランニングのパートナー
写真の撮影・編集・印刷・製本まで

有限会社 ウーノ 03-3891-6735

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里6-45-3
ハイウエストビル6階

スポーツのことなら!

しろがね
白銀スポーツ

ユニホーム・スポーツ用具
用品・施設・工事一般
カップ・賞品・トロフィー

〒143-0024 東京都大田区中央8-29-7
TEL (03) 3754-8679 FAX (03) 3754-4845
第37期 白銀 正明



東京都大田区南馬込5-22-10
TEL (03) 3771-7100 営業時間 17:00~23:00
携帯 (080) 5375-8552 月曜定休 (祝日の場合営業)

不動産の総合コンサルタント
分譲住宅 設計・施工・販売
神奈川県宅地建物取引業協会会員



株式会社セガ・コーポレーション

〒230-0062 横浜市鶴見区豊岡町8番12号
TEL:045(582)8000 FAX:045(582)8866
第42期 代表取締役 瀬川 千尋

ITソリューションサービス



株式会社 KHJサービス
<http://www.khjs.co.jp/>

〒231-0023 横浜市中区山下町224番地1
山下町Kビル2階

TEL:045(226)3006 FAX:045(226)3007
第42期 相談役 白田 佳彦

一企画・デザイン・印刷全般一

トータルプラン株式会社

〒144-0032 東京都大田区北糀谷1-18-14
TEL (03) 5736-3447 FAX (03) 5736-3448
E-mail : total@wing.ocn.ne.jp

第38期 川邊 國造

美しい日本語を大切に

株式会社 **佐々木印刷所**

☎146-0095
東京都大田区多摩川1丁目18番5号
TEL.03-3758-0710
FAX.03-3758-2821
第56期 佐々木 健

パソコン・一般家電 修理・販売
お気軽にご相談下さい



有限会社 深谷電器

〒145-0073 東京都大田区北嶺町 29-16
(御嶽山商店街内)
電話:03(3728)1446
E-mail:NQF15990@nifty.com
第70期 代表取締役 深谷和弘

事務局だより

■ 主な同窓会行事と参加のお願い ■

同窓会では、主に次の行事をおこなっており、開催時期は以下の通りです。

- 新年会 1月(最終土曜日)
- 定期総会 6月(第1土曜日)
- 懇親旅行 9月下旬～10月中旬
- 東実祭 11月(中旬の土・日曜日)

詳細につきましては、ホームページで随時お知らせしておりますので、閲覧いただくか事務局にお問い合わせください。なお、参加申込みは、電話、メールいずれでも構いません。会員(東京実業高等学校の同窓生・元教職員)の方であればどなたでも参加出来ますので、先輩・同期・後輩の方にご連絡いただき、お誘い合わせのうえ是非ご参加ください。(事業部)

■ 広告掲載のお願い ■

○同窓会報

本会報紙に広告掲載を希望される広告主様を募集しております。掲載料金(消費税込み)は、縦49mm×横81mmサイズは5,000円、1/2サイズは2,500円です。各号の締切日は、12月中旬となっておりますので、お申し込みは、事務局に電話またはメールにてお願いいたします。

○同窓会ホームページ

ホームページにバナー広告の掲載を希望される広告主様を募集しております。掲載料金は1年間20,000円(消費税込み)です。詳細につきましては、ホームページの「広告バナー掲載について」の募集要項をご覧ください。随時受け付けておりますので、ホームページの「お問い合わせメール」または事務局に直接電話でお申し込みください。(広報部)

■ 同窓会名の電話に“ご注意、” ■

近年、同窓会関係者を騙った名簿業者から、名簿発行に伴う情報提供の依頼や購入案内が会員に届くなど、名簿を悪用した詐欺も多くなっておりますので、“ご注意、”してください。同窓会では、電話による寄付の要請や個人情報に関する問い合わせは一切行っていません。

ご家族の方にも周知されて直ぐに対応しないようにしてください。また、同窓会名でこのような電話がありましたら、必ず事務局または学校にご連絡し、ご確認ください。(事務局)

■ 個人情報の取扱い ■

会員の皆様の個人情報の利用は、以下のとぎのみに使用しております。

- 同窓会名簿の整備
- 同窓会報の送付
- 各種行事の開催案内送付
- 総会・役員会議等の開催案内送付

同窓会は事務局も含め、全て卒業生のみで運営されており、保有している会員の情報は、本人の同意を得ずに第三者への提供や開示などはいたしません。(事務局)

■ 常任幹事を募集しています ■

同窓会では、一緒に活動して下さる常任幹事を募集しています。主な仕事は、年5回ほど平日の夜に開催される役員会議に出席していただき、同窓会行事等の打合せや諸行事へ積極的に参加していただくことなどです。

同窓会の輪を広げるためにも皆様のご協力をお願いいたします。ご協力いただける方は、事務局へ電話・メール等でご一報ください。(事務局)

編集後記

本誌「東実同窓会報 No. 32」の発行に際しまして、ご寄稿をくださいました会員並びに学校教職員の皆様には、大変お忙しい中、ご執筆くださいまして誠に有難うございました。また、広告掲載にご協力くださいました企業様には、厚く御礼申し上げます。

さて、2020年は年初から新型コロナウイルス感染が拡大し、東京オリンピック・パラリンピックをはじめ、様々なイベントの中止や延期、規模が縮小されました。また、政府の相次ぐ支援策もあり、企業倒産は抑制されましたが、休業・解散は急増するなどコロナ禍で経済が停滞いたしました。このような状況下で、当会でも長年に亘って継続開催しておりました懇親旅行や新年会を中止するなど新型コロナ感染症対応に奔走した年でした。

今後も本誌を通して、同窓会の活動や母校の現況、会員の寄稿文などを掲載し、同窓会の情報誌として、より充実した内容で、皆様のご要望とご期待にお応えして行く所存ですので、引き続きご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

広報部責任者(副会長) 川邊 國造

 東実同窓会報 No. 32 広報部	
責任者	川邊 國造(副会長)
部員	神野 行雄(常任幹事) 深谷 和弘(常任幹事) 長瀬 隆史(常任幹事) 高山 俊一(常任幹事)
発行日	令和3年3月1日
編集	東実同窓会報 広報部
発行	東京実業高校同窓会
事務局	〒144-0051 東京都大田区西蒲田 8-18-1 Tel : 03-3732-4481 Fax : 03-3732-4456
	[ホームページ] URL : http://www.tojitsu-dosokai.com/ Mail : info@tojitsu-dosokai.com
	M-phone : 080-1186-8945 E-mail : tojitsu-dosokai@docomo.ne.jp
発行人	臼田 佳彦(会長)
編集人	川邊 國造(副会長)
協力	小畑 雅一(副校長) 本田位公子(顧問) 田中 清江(教諭) 米倉 美鈴(事務局)
制作	トータルプラン株式会社